

平成29年度 歯科口腔保健対策に関する事業

1 歯科口腔保健推進に関する事業

「あいち歯と口の健康づくり八〇二〇推進条例」及び「歯科口腔保健基本計画」に基づき、乳幼児から高齢期までの生涯を通じた歯科疾患の予防及び歯の喪失予防、口腔機能の維持向上に関する施策を推進する。

(1) 歯科口腔保健対策部会 （健康対策課 1 回）

○保健、医療、教育、その他の関係機関・団体等が口腔保健情報を共有し、歯科口腔保健対策の推進について協議する。健康日本21あいち新計画及び愛知県歯科口腔保健基本計画の指標にかかる評価を行う。

(2) 若い世代からの口腔ケア推進事業 （愛知県歯科医師会委託）

○成人期の歯周疾患の改善にむけ、若い世代(大学生)に働きかけ、生涯良好な口腔環境の維持につながるための事業を実施する。

(3) 障害者（児）歯科口腔保健推進研修事業 （愛知県歯科医師会委託）

○障害者（児）がどこでも定期的な歯科検診・歯科医療受診ができるよう、すべての歯科医療関係者が、口腔ケアサポートに取り組める体制づくりを整備する。

(4) 歯と口の健康づくり推進会議 （各保健所 1 回）

○地域における歯科口腔保健対策の推進について協議する。

(5) 歯科口腔保健推進研修事業 （各保健所 1 回、健康対策課 1 回）

○歯科専門職及び地域関係者の資質向上と相互の連携を促進するための研修を行う。

(6) 地域歯科保健活動支援事業

○ライフステージに応じた歯科疾患予防、口腔機能維持向上等の取組みが円滑かつ効果的に展開されるよう、市町村、地域関係機関等における歯科保健活動を支援する。

- | | |
|---------------|---------------|
| ① 乳幼児歯科保健活動支援 | ② 学齢期歯科保健活動支援 |
| ③ フッ化物洗口推進支援 | ④ 歯周病対策推進支援 |
| ⑤ 口腔ケア連携推進支援 | ⑥ 医科歯科連携推進支援 |

(7) 地域歯科保健評価事業

○地域における歯科保健活動におけるデータの収集・分析・評価・還元を行う。

＜主な歯科保健データ＞

- ① 母子健康診査マニュアル情報（1歳6か月児・3歳児歯科健康診査実施状況）
- ② フッ化物洗口実施状況
- ③ 歯周病検診実施状況
- ④ 地域歯科保健状況（地域歯科保健業務状況報告）
 - ・妊産婦、乳幼児、園児、児童・生徒、成人の歯科保健事業実施状況等

(8) 地域歯科保健課題対応事業

○健康格差の縮小を図ることを目的に、地域の歯科口腔保健状況の実態を踏まえ、地域の歯科口腔保健課題に対応した取組みを行う。

ア 地域歯科保健課題対応事業 (各保健所)

取組の内容	事業項目
・専門的かつ技術的業務の推進に関すること ・地域歯科保健事業の推進のための連携・調整に関すること ・歯科保健の現状・課題等の調査・研究に関すること ・企画調整機能の強化に関すること	・実務者会議の開催 ・調査・研究 ・研修会の開催 ・普及啓発 ・関係機関との連携強化等

イ 歯科保健課題対応研修 (健康対策課 1 回)

(9) 歯科相談事業

○生活習慣に起因する歯科疾患に関する歯科相談窓口を開設する。

(10) 保健所における歯科保健業務

○保健所における歯科保健業務の円滑な運営を図るため、会議・研修会の開催、歯科保健データの入力等に対し賃金措置を行い、業務を補完する。

2 歯科医療推進に関する事業 (愛知県歯科医師会等補助金及び委託事業)

障害者(児)、要介護高齢者、へき地等の歯科医療を整備し、県民の口腔の健康保持増進を図る。

(1) 歯科医療推進事業(補助金)

○障害児(者)及び休日歯科医療の確保、障害者児(者)、在宅療養高齢者及びへき地住民に対する歯科検診と予防対策事業に係る経費を補助する。

ア 愛知歯科医療センターにおける歯科診療事業

(ア) 障害者(児)歯科診療

(イ) 休日歯科診療

イ 施設入所障害児(者)歯科医療推進事業

ウ 在宅療養高齢者歯科保健推進事業

エ へき地歯科健診事業

(2) 地域歯科保健推進事業(補助金)

○県民の歯科疾患の予防及び早期治療を図るための歯科保健事業に係る経費を補助する。

ア 歯の健康センターの開設

イ 歯科健康教室の開設

ウ 県民と共に考える愛知歯科保健大会

エ マスメディア広報事業

オ 災害歯科保健医療対策事業

カ 地域医科歯科連携推進事業

- (3) 在宅療養支援歯科医養成推進事業 基金事業（寄附：愛知学院大学）
○在宅歯科医療を推進するため、愛知学院大学歯学部「在宅歯科医療学寄附講座」を設置し、地域包括ケアシステム及び在宅歯科医療に精通した歯科医師を養成する。
- (4) 在宅歯科医療従事者研修事業 基金事業（委託）
○在宅歯科医療を推進する歯科診療所を増やすため、在宅療養支援歯科診療所を始め、地域の歯科診療を担う歯科医師及び歯科衛生士を対象とした研修会を実施する。
- ※新規**
- (5) 歯科衛生士在宅口腔ケア研修事業 基金事業（委託：愛知県歯科衛生士会）
○高齢者の誤嚥性肺炎の予防や口腔機能の維持向上に口腔ケアが有効であることから、多職種と連携した地域包括ケアの推進に向けて、在宅歯科医療・介護に対応できる歯科衛生士の人材育成を図る。
- (6) 在宅歯科医療支援設備整備事業 基金事業（補助金）
○へき地歯科診療や老人福祉施設等に対して、災害時でも適切な支援が行えるよう、ポータブルユニットのための機器等の整備に係る経費を補助する。
- (7) 在宅歯科医療連携室事業 基金事業（委託）
○在宅歯科医療を推進するため、在宅歯科医療連携室（愛知県歯科医師会設置）に歯科衛生士を配置し、歯科衛生士の派遣や在宅歯科診療に関する情報提供を行う。
- (8) 成人期口腔ケア推進事業 基金事業（委託）
○協力事業所の従業員に対し、歯科検診及び口の健康に関する生活習慣及び意識調査による実態把握を行い、高齢期における良好な歯科口腔状態の保持に向けた対策を推進する。
- (9) 歯科衛生士再就業支援事業 基金事業（委託）
○在宅歯科医療及び口腔ケアに従事する歯科衛生士の人材確保のため、未就業歯科衛生士を対象に歯科衛生士登録と就業先あっせん、就業相談及び研修会等を実施し再就業を支援する。
- (10) 在宅歯科診療設備整備事業 基金事業（補助金）
○在宅歯科医療に取り組む歯科医療機関に対し、在宅歯科診療に必要な医療機器等の整備に係る経費を補助する。
- (11) 在宅介護者歯科口腔保健推進設備整備事業 基金事業（補助金）
○在宅歯科診療を実施している歯科診療所に対して、在宅療養者の口腔ケアや口腔保健指導等に必要な機器等の整備に係る経費を補助する。

注）基金事業・・・愛知県地域医療介護総合確保基金事業

若い世代からの口腔ケア推進事業

1 事業の目的

歯科口腔保健の課題である歯周病（歯肉炎を含む）は、法定の歯科検診制度が整備されていない成人期以降より増加する傾向があることから、若い世代が自ら定期的に口腔管理を行う習慣を獲得することが重要である。このことを踏まえて、若い世代から生涯良好な口腔環境を維持することにつなげるための事業を実施する。

2 事業内容（愛知県歯科医師会委託）

（1）生活習慣の調査および歯科検診の実施

県内の複数の大学の学生 1,200 名を対象に、歯科医師による口腔診査および歯科保健に関連する生活習慣アンケート調査の実施。

（2）出前講座の実施

歯科医師が直接、大学等に出向き、歯周病予防についての講義・実技指導（ブラッシング含）を実施する。予定施設は（1）の調査及び歯科検診の実施大学。

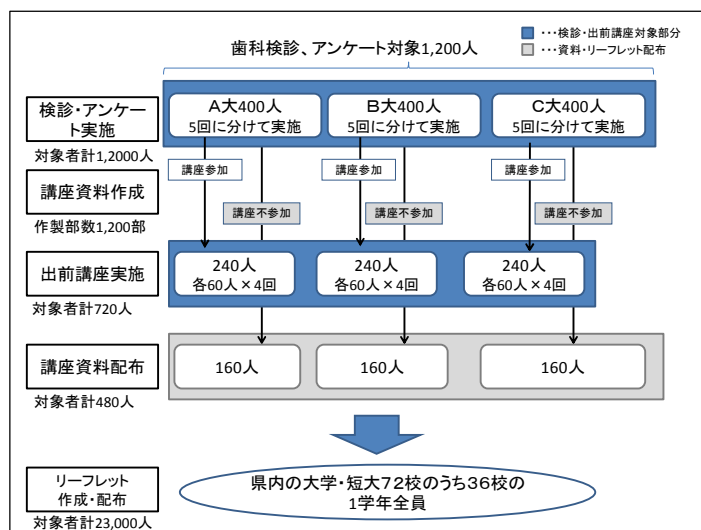
（3）口腔ケア推進会議の開催（3回開催）

調査結果から課題・問題点の分析、解決策及び出前講座内容の検討、事業報告の検討。

（4）リーフレット等の作成・配布

リーフレット：県内の大学・短大 72 校のうち希望のあった大学の 1 学年全員

報告書：保健所等



【参考 平成 28 年度実績】

	愛知大学 同短期大学部	豊橋創造大学 同短期大学部	人間環境 大学	中京大学	愛知工業 大学	東海学園 大学
調査・検診 協力者数	334	104	28	471	134	202
出前講座 受講者数	50	40	14	－	15	180

障害者（児）歯科口腔保健推進研修事業

1 事業の目的

歯科関係者が障害者の口腔ケアに関する研修会を受けることで、口腔ケアサポートマニュアル（平成 26 年度作成）の活用を促し、すべての歯科診療所で軽度の障害者（児）が定期的な歯科検診及び歯科保健指導が受けられる口腔ケアサポート体制を構築する。

2 事業内容（愛知県歯科医師会委託）

（1）研修企画会議 2 回

研修及び研修補助教材の内容の検討

（2）研修会の開催

対 象： 歯科医師 100 人×3 回（計 300 人）

内 容： 障害者の口腔保健の基本

定期的口腔ケアへの導入法など

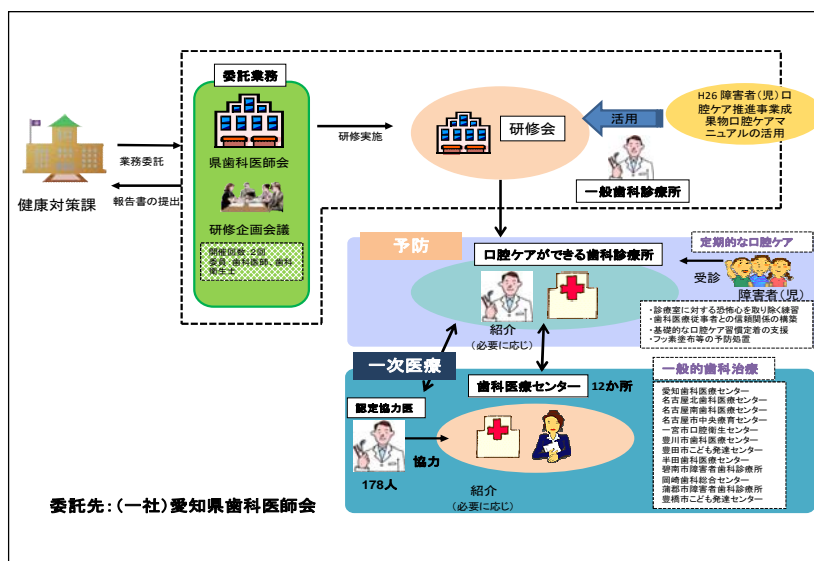
（3）研修補助教材の作成

作成数： 4,000 部

配布先： 歯科診療所、市町村、保健所等

<口腔ケアサポートマニュアル>

すべての歯科医療関係者が障害者（児）の口腔ケアサポートに取り組める体制づくりを進めるために歯科医療関係者が障害状況に応じた口腔ケアが行えるよう、サポートするためのマニュアル。



【参考 平成 28 年度実績】

	日 時	場 所	参加者数
研修会	第 1 回 H28.9.1（木）午後 3 時～	愛知県歯科医師会館	128 名
	第 2 回 H29.2.22（水）午後 7 時～	瀬戸旭医師会館	61 名
	第 3 回 H29.2.24（金）午後 8 時～	豊橋市歯科医師会館	121 名

在宅療養支援歯科医養成推進事業

1 事業の目的

県内唯一の歯学部を持つ愛知学院大学において、在宅歯科医療に係る講義及び実習のカリキュラムを開発し、学生及び臨床研修医を教育することで地域包括ケアシステム及び在宅歯科医療に精通した人材を養成する。

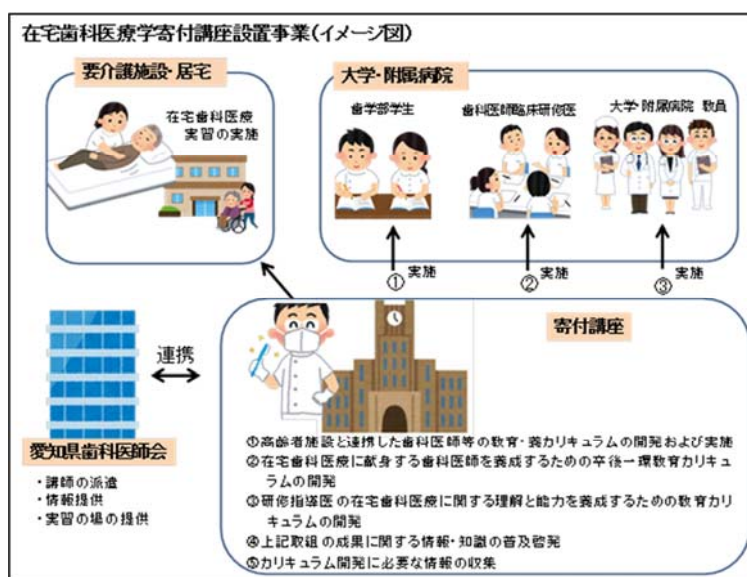
5年生、6年生及び臨床研修医に対する講義・実習等を通じ、事業実施期間（2年2か月）中に320人程度養成することで、在宅歯科医療に携わる歯科医師の目標数の確保を目指す。

2 事業の概要（寄附先：愛知学院大学）

次の世代を担う全ての歯科医師等が地域包括ケアシステムを理解し、高齢者の特性等を踏まえた在宅歯科医療（口腔ケア含む）に取り組むため、愛知学院大学歯学部「在宅歯科医療学寄附講座」を開設する。

3 事業実施期間

平成28年2月から平成30年3月まで（2年2か月）



【連絡先】

愛知学院大学歯学部
在宅歯科医療学寄附講座
特任准教授 杉本太造

【参考 平成28年度実績】 平成29年1月現在

	5年生 110人	6年生 122人	臨床研修医 60人	歯科衛生学科 106人	その他
講義	12回	3回	6回	1回	1回
実習・臨地実習	23回	1回	30回	-	-

歯科衛生士在宅口腔ケア研修事業

1 事業の目的

多職種と連携した地域包括ケアシステムの推進に向け、在宅歯科医療・介護に対応できる歯科衛生士の人材確保が望まれている。特に、高齢者の誤嚥性肺炎予防や口腔機能の維持向上には口腔ケアが有効であるとされている。これらに対応できる歯科衛生士の人材育成のための研修事業を実施する。

2 事業の概要 (委託先：公益社団法人愛知県歯科衛生士会)

地域包括ケアシステムを理解し、在宅歯科医療・介護分野において多職種と連携した口腔ケアが提供できる歯科衛生士の育成を図るための研修会を実施する。研修会は、県内5地域で開催し、各地域における人材育成を行う。

3 事業実施期間

平成29年度から平成30年度(2年間)

4 事業内容

(1) 在宅口腔ケア研修会(講義・実習)

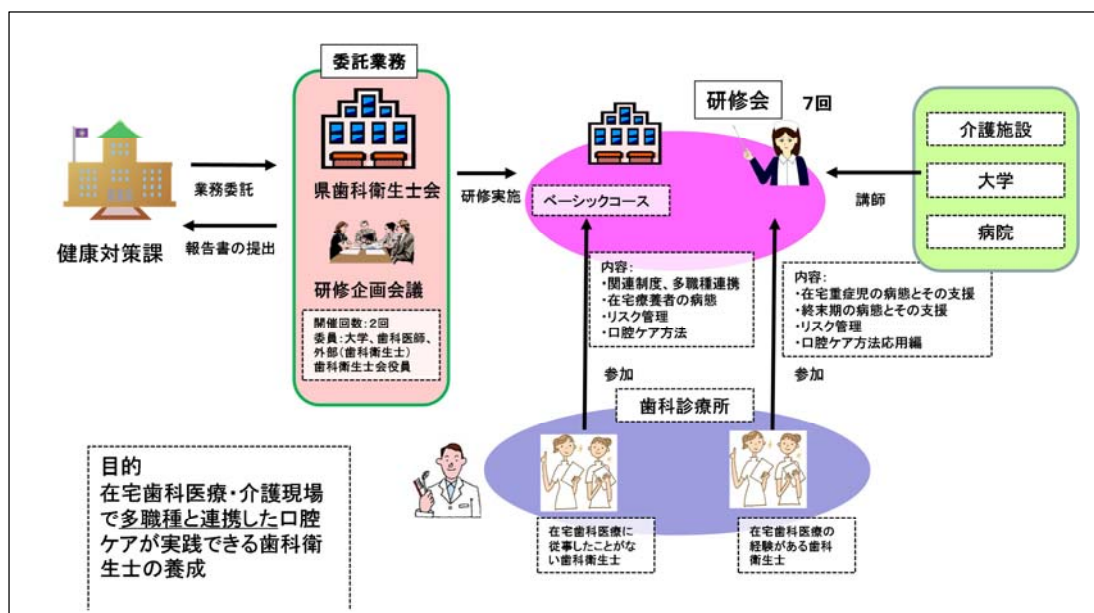
在宅歯科医療・介護分野における口腔ケアに関する知識・技術習得のための研修及び地域包括ケアシステム、多職種連携等に関する研修を実施する。

ア ベーシック研修(講義と演習) 1日コース5回(1回20名、計100名)

イ アドバンス研修(講義と演習) 1日コース2回(1回40名、計80名)

(2) 研修会打合せ会議 2回

研修内容及びテキスト内容の検討、研修講師との打合せ等



成人期口腔ケア推進事業費

1 目 的

高齢期における良好な歯科口腔状態の保持に向けた対策推進のため、成人期の歯科口腔状況等について実態調査を行い、結果を元に「愛知県歯科口腔保健基本計画（平成 25 年 3 月策定）」の中間評価や歯周病に関する数値目標の改定に活用するとともに、「口腔保健支援センター」が実施する研修会や啓発活動のための資料として活用する。

2 調査対象者

18～65歳 9,600人

各年齢の調査数：約200人（男性100人、女性100人）

3 事業内容（愛知県歯科医師会委託）

（1）協力を得られる事業所において、従業員に無料券を配布し、事業所や自宅から最寄り受診しやすい歯科診療所で、歯科検診及びアンケート調査を行う。

①歯科医師による口腔診査（う蝕、歯周病の状況、口腔機能等）

②口の健康に関する生活習慣及び意識調査

（2）調査結果の分析

（3）報告書等の作成


協力事業所等向けの分析結果の還元及び啓発のための資料の作成、配布

4 協 力

全国健康保険協会 愛知支部

5 実施期間

平成28年2月から平成30年3月まで（2年2か月）

	18	22	40	65	75（年齢）
学 生	若い世代の口腔ケア推進事業				
労働者					
市町村住民 （農家、自営業が主）	歯周疾患検診事業				

【参考 平成 28 年度実績】

	18～19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60～65 歳	計
男性	67	777	1,177	1,421	1,007	652	5,101
女性	174	1,170	1,213	1,662	1,369	656	6,244
計	241	1,947	2,390	3,083	2,376	1,308	11,345

歯科衛生士再就業支援事業

1 事業の背景

地域包括ケアの推進に向け、在宅歯科医療と口腔ケアに取り組む歯科診療所の充実と歯科衛生士の人材確保が求められているが、平成 26 年度厚生労働省衛生行政報告例による人口 10 万人あたり就業歯科衛生士数は、全国平均 91.5 人に対し、愛知県は、66.6 人と低い状況にある。

2 事業の目的

在宅歯科医療、口腔ケアを推進するために必要な歯科衛生士の人材確保のため、未就業歯科衛生士の再就業を支援するための事業を行う。

3 事業内容（愛知県歯科医師会委託）

（1）歯科衛生士登録バンク事業

（2）カムバック研修会の開催

歯科衛生士として復職するために必要な歯科医療に関する最新の知識習得やスキルアップを図るための研修会を実施する。

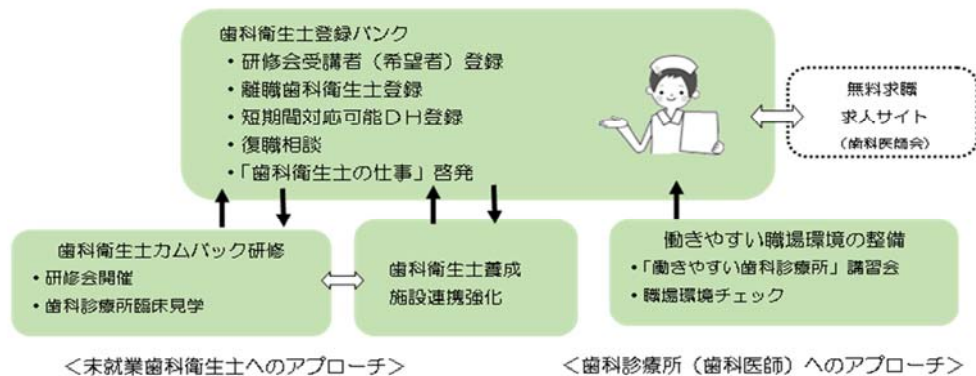
（3）働きやすい職場環境の整備

働きやすい職場環境の整備のため、労務関連の意識改善に関する講習会を実施する。

（4）歯科衛生士養成施設との連携強化

養成施設との連絡会議の開催

歯科衛生士再就業支援事業（イメージ図）



【参考 平成 28 年度実績】

登録バンク事業	登録者数 69 名
カムバック研修会	14 回 延べ受講者数 159 名
働きやすい職場環境の整備講習会	1 回 受講者数 48 名